

# 滝高フロンティアサイエンス通信

H29.3.17 SSH・理数科  
第6号

## 石狩川流域 湿地・水辺・海岸ネットワーク 設立記念フォーラム 参加してきました！

去る3月5日(日)、「湿地から北海道の未来を考える」というテーマのもと札幌で上記フォーラムが開催されました。本校からは理数科2年川越聖哉くん、小川彰史くんが参加しました。◆100年ほど前、石狩川流域には国内最大と言われる広大な石狩大湿原がありました。多種多様な野生生物や人間が暮らし、人はその湿地から多くの恵みを得ていたのです。現在では開発が進み、わずかに点在する湿地に名残をとどめるのみです。かつての国内最大の大湿原はわずか0.1%にまで減少(ほぼ消滅)しました。わずかに残る貴重な湿地環境をこれ以上なくさぬよう保全するとともに、少しずつ取り戻していこうと各地で活動している研究者や市民、行政の人たち、そして未来を担う中学生から、高校生や大学生が一同に集まりました。◆本校から参加の川越君、小川君はこれまで課題研究で取り組んできたマガン繁殖地(ロシア)の植生変化とマガンの生態

石狩川流域 湿地・水辺・海岸ネットワーク 設立記念フォーラム  
**湿地から北海道の未来を考える**  
2017年 3月5日(日) 14:00-17:00(開場13:00)  
会場 札幌市社会福祉総合センター 大研修室  
参加費 無料 定員180名

基調講演 (14:05~) 「石狩湿原から湿地と人の未来を考える」  
講師 高田雅之氏 (法政大学人間環境学部)  
ポスター発表 (16:00~)

【フォーラム開催を宣伝したチラシ】



【最優秀ポスター賞を受賞しました】

についてポスター発表を行いました。様々な立場の大人の方や、高校生、中学生までたくさんの方が興味深く発表を聞きに来てくれました。

### 【北海道新聞にフォーラムの様子が紹介されました】

2017年(平成29年)3月6日(月曜日)

石狩川流域 湿地・水辺・海岸ネットワーク 設立記念フォーラム  
湿地から北海道の未来を考える

札幌でフォーラム 笑い交え現状紹介  
石狩川流域の環境保全  
石狩川流域の環境保全  
石狩川流域の環境保全  
石狩川流域の環境保全

かつて大規模であった石狩川流域の環境保全  
について考えるフォーラム「湿地から北海道の未来  
を考える」が、札幌市中央区の市会福祉総合  
センターで開かれ、市民ら約200人が講演や高橋  
通史「湿地の現状をきく」(要約)を聞いた。

法政大の高田雅之教授  
「湿地は、石狩川  
流域の生態系を支  
える重要な存在で  
、湿地を失えば、  
生態系は壊滅した  
り、生き物も減少  
し、水質も悪化す  
る」と述べ、関係  
者の関わりを呼び  
かけた。

札幌市住居生活部  
は、学生らとあわ  
せて、湿地の現状  
を、市民らに紹介  
した。

高橋通史は、創作  
詩「湿地のうた」を  
発表し、湿地の現  
状を、市民らに介  
紹した。

高橋通史は、創作  
詩「湿地のうた」を  
発表し、湿地の現  
状を、市民らに介  
紹した。